

主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

大倉山講演会

波濤を越えた近代日本人たち

令和7年6月21日(土)

要事前申込
(詳細裏面)

次世代育成にかける夢 — 津田梅子のノブレスオブリージュの精神 —

2024年に日本銀行券のデザインが一新され、5千円札の肖像に津田梅子^{つだうめこ}が採用されました。財務省のウェブサイトでは梅子について以下のように記されています。「1871年、岩倉使節団に随行した最初の女子留学生の一人。1900年に女子英学塾（現 津田塾大学）を創立するなど、近代的な女子高等教育に尽力。」

津田梅子は、当時国内では得られなかった高等教育の機会を求め、海外で自らの可能性に挑戦しました。さらに、そのような機会を他の日本の女性にも与えるべく、奨学金制度をつくり後進を支援しました。梅子が華族女学校教員という安定した職を辞し、私塾を創設するという決断ができた背景には、このような女性リーダー育成プログラムの成功体験があったといえます。

梅子は、複数回に及ぶ米国留学から何を得て、それをどのようにして日本の女子高等教育に還元していったのか。本講演では、現代を生きる私たちの視点から、次世代育成にかけた梅子の足跡を辿りたいと思います。

◇時間：午後2時～3時30分（開場は午後1時45分）

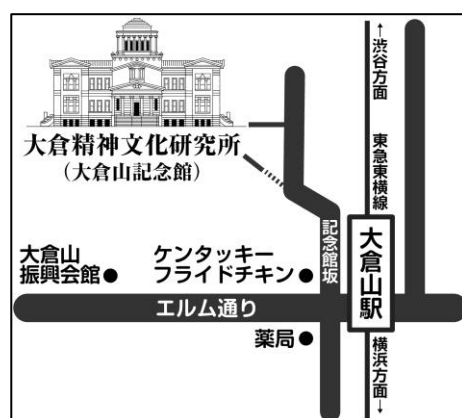
◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内
(東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

◇講師：高橋^{たかはし}裕子^{ゆうこ}（津田塾大学学長）

◇定員：80名（入場無料、要申込・先着順）

◇申込方法：詳細は裏面をご覧ください



次回予告 7月12日(土) 大倉山講演会 ヴィクトリア朝の岩倉使節団—幕末維新时期における文化接触と〈知〉をめぐる旅— 講師：太田 昭子（慶應義塾大学名誉教授）

大倉山講演会 令和7年第3回 申込書

ご提供いただいた個人情報は、講演会への参加確認、並びに延期・中止が決定した場合のご通知のためにのみ利用させていただきます。
なお、本講演会の終了後、速やかに廃棄いたします。

- ① **メール** 「参加をご希望される日にち」と「ご氏名（よみがな）」を、下記のアドレスに送る

okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp



こちらから、メールアドレスを読み取れます。

- ② **FAX** 下記の「ご氏名（よみがな）」と「ご連絡先」を記入して、本紙を送る(045-542-0051)

ご氏名（よみがな） 複数名の場合は全員の氏名をご記入ください

ご連絡先 複数名の場合は代表者のみをご記入ください

- ③ **Google フォーム** 下記のQRコードを読み取り、必要事項を入力する



大倉精神文化研究所が主催する各イベントの情報をメールでお届けします。受信をご希望される方は、右のQRコードからご登録ください。（後日、自由に解除することができます）

